

- ①. 不可  
 2. 可 イ. 辞書  
 ロ. その他  
 ( )

2026年度【I期】 玉川大学大学院脳科学研究科心の科学専攻  
 修士課程入学試験問題

科目名	小論文	受験番号		氏名	
-----	-----	------	--	----	--

以下の【問題1】あるいは【問題2】のいずれか一つを選択し、解答用紙に論述せよ。  
 解答用紙の1枚目には選択した問題を明記すること。

【問題1】

次の文章を読み、問①および②に解答せよ。

アラン・チューリングは「機械は思考できるか？」という問いに対して、いわゆるチューリングテストを提唱した。これは、人間の質問者が対話を通じて相手が人間か機械かを判別できない場合、その機械は「思考している」と見なせる、というものである。近年の大規模言語モデル（GPTなど）は、この基準を優に満たしているという報告もある。一方で、「思考」と「心」を区別すべきか、区別できるかについては、現在も活発に論じられている。

- ① あなたは、現状のAIは思考している（人間のような知性をもつ）と思うか。  
 「はい」「いいえ」で答え、具体例なども交え、その理由を論ぜよ。
- ② 「心」とはどのようなものだと考えるか。あなたの考えを述べよ。

【問題2】

脳科学の発展と、そのために特に貢献したモデル動物（実験動物）の組み合わせをひとつあげ、その動物のどのような特徴が、その研究の成功に寄与したのかを具体的に記せ。また、ヒト以外の動物をもちいた実験によって、ヒトの認知機能や神経機序を理解しようとする際の注意点について、まとめて論ぜよ。

2026年度【Ⅱ期】 玉川大学大学院脳科学研究科心の科学専攻  
修士課程入学試験問題

※試験場への持込

1. 不可  
②. 可 ㊦. 辞書  
㊧. その他

(辞書の種類・冊数については問わない)

科目名	小論文	受験番号		氏名	
-----	-----	------	--	----	--

以下の【問題1】および【問題2】の両方について、それぞれ解答用紙に論述せよ。

【問題1】脳科学研究や AI 技術の進歩は、社会のさまざまな領域に影響を及ぼしている。

その具体例を 2 つ 挙げ、説明せよ。

【問題2】この状況を関連して、脳科学や AI 分野の研究に携わる科学者・技術者は、

市民社会とどのように向き合い、どのような形で関わっていくことが望ましいか。

あなたの考えを述べよ。

2026年度【Ⅲ期】 玉川大学大学院脳科学研究科心の科学専攻  
修士課程入学試験問題

※試験場への持込

1. 不可  
②. 可 ④. 辞書  
ロ. その他

(辞書の種類・冊数については問わない)

科目名	小論文	受験番号		氏名	
-----	-----	------	--	----	--

近年、医療・教育・人工知能・ニューロテクノロジーなど多くの分野で、脳科学の成果の応用可能性が高まってきた。その一方で、脳科学の知見が専門外の人々に誤解されることの危険性が、指摘されることも増えてきた。

このような誤解が生じる原因や背景・経緯、防止策などについて、脳科学・心の科学の研究を志す立場から、あなたの考えを述べなさい。